

子ども特派員 わが街を行く！

この紙面は、自分の住んでいる街や校内活動を、自分たちで取材・編集する「子ども特派員」とともに編集しています。

今回の「子ども特派員」は、福岡小学校6年生の金子友里加さん（中央）、5年生の大藤ゆうみさん（右）、4年生の金子友紅さん（左）が、福岡地区に昔から伝わる「福岡太鼓」「盆踊り」を紹介します。

伝統あふれる福岡太鼓

私たちの住む福岡地区には、昔から伝わる盆踊りがあります。その始まりは、桃山時代末期に始まった大楽寺の盆踊りとされており、その盆踊りを継承するため昭和56年に「福岡盆踊り保存会」が結成されました。私たち3人は、この保存会で活動しています。



私たちは、8月15日の本番に向け太鼓の練習をしますが、本番が近づくと、2週間に1度から毎週になります。本番では、やぐらの上に立つと緊張しますが、太鼓をたたいているうち、踊っているうちに緊張がほぐれます。みんなで力を合わせて演奏するときは、とても楽しいです。

福岡小学校では、毎年、3・4年生が保存会の人たちから楽器の演奏を習います。また、1・2年生は、地域の方から盆踊りを習い、11月に行われる秋祭りで発表をします。何百年も続くこの伝統の「福岡太鼓」「盆踊り」を、福岡小学校のみんなで守っていきたいと思います。



今回の特派員は、私達です！

大楽寺での盆踊りは、毎年8月15日に行われ、真ん中にやぐらを建て、そこで私たち保存会の人たちが、大太鼓（宮太鼓）、小太鼓（しめ太鼓）、小太鼓（宮太鼓）、平太鼓、篠笛、鉦の6種類の楽器を使い演奏します。やぐらの周りでは、たくさんの方が盆踊りを楽しまます。保存会では「盆踊り」「源太」の2種類を伝承しており、これらは福岡地区に伝わる伝統的な踊りです。

保存会には、現在、福岡小学校の3年生から6年生の10人が入っています。今年初めて保存会に入った人にインタビューすると「太鼓をたたいて手足が痛くなって、とても疲れた」「大変だけど、とても楽しい」と話してくれました。



学校通信

このコーナーでは、市内小中学校のお知らせ情報を掲載します。

【伊奈中学校】

資源回収について

▼日時：11月17日(日) 午前8時～小雨決行

※雨天の場合は、18日(月)に順延。同校ホームページに掲載します。

▼回収物：・新聞、雑誌（ひもではぼって出してください）

／・段ボール／・アルミ缶

▼対象：伊奈中学校区内の方

▼集積場所：関東鉄道バスターミナル／三島小学校

▼方法：午前7時30分までに自宅前に出してください。

問 伊奈中学校 ☎58・0201

